

## 第二期長野市農業振興アクションプランの策定について

### ○ 農業振興アクションプランの策定

#### ▶ 長野市農業振興条例第10条に基づき、策定する

第10条 市長は、前条に規定する基本方針に基づき、施策を総合的かつ計画的に推進するため、農業及び農村の振興に関する計画（以下「振興計画」という。）を定めなければならない。

- 2 市長は、振興計画を定めるに当たっては、農業者、農業団体、事業者及び市民の意見を反映するよう努めるとともに、長野市農業振興審議会の意見を聴かなければならない。
- 3 市長は、振興計画を定めたときは、これを公表しなければならない。
- 4 前2項の規定は、振興計画の変更について準用する。

### ○ 現行の農業振興アクションプラン

計画期間 平成29年度～令和3年度の5年間

#### ▶ 本市農業の将来像：三実<sup>み</sup>一体で実現する力強い長野市農業

- ・ 将来像の実現に向け、2つの重点施策のもとに40の小項目を実施
- ・ 4つの指標を設定し、進捗度合を管理
- ・ 毎年度、議会に報告するとともに公表

# ○ 現行の農業振興アクションプランの内容

### 施策展開の方向性

- (1) 農業者や市民が、誇りと自信を持てる農業を実現する。
- (2) 若者が、将来に夢を持つことができる農業を実現する。
- (3) 中山間地域の農業に明るい未来を感じることができるような施策を展開する。
- (4) 大規模な経営体を育成するという国の農業政策を踏まえつつ、果樹生産が主力である本市農業の実態に沿った施策を展開する。
- (5) 観光との連携による新たなビジネスを創出するとともに、商工業など他産業と連携し、既存の農業生産基盤を活用した企業的発想に基づく農業経営を実現する。
- (6) 「産業としての農業」のほか、「国土を守るための農業」、「生きがいづくり、健康づくりのための農業」という視点を併せ持って施策を展開する。

### 将来像

**三実一体で実現する力強い長野市農業**

「実り1」未来につなぐ！豊かな大地に根ざした誇りある農業

「実り2」魅力アップ！新たな発想に基づき発展する農業

「実り3」みんなが主役！市民が共に支え育む人をつなぐ農業

重点施策	具体的な取組(アクションプラン)		
	大項目	中項目	小項目
多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	① 農業の多様な担い手の確保と育成	中心的な担い手となる農業者の育成	認定農業者、農業者の組織化、農作業支援
		新たな担い手の確保	新規就農者、農業研修センター、企業の農業参入
	② 農地の有効利用と農業生産基盤の整備	農業者を支える団体の活動支援	農業協同組合、農業青年協議会
		優良農地の確保と農地の有効利用	優良農地の確保、耕作放棄地対策、農地流動化対策
	③ 地域の特性を活かした生産振興	農業生産基盤の整備と維持管理	農業生産基盤整備、湛水防除、農業用施設の適切な維持管理
		主要農畜産物の生産振興	果樹・野菜・花き・きのこ・水稲・畜産・めん羊振興、地域奨励作物
地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	④ 農産物の販売力強化と他産業との連携	中山間地域の生産振興	中山間地域の農地維持、中山間地域の生産振興
		安全・安心な農産物づくり	環境にやさしい農業の推進、農業生産工程管理
	⑤ 農業・農村に対する理解の促進	災害対策・野生鳥獣対策	災害対策、野生鳥獣被害防除対策、ジビエの活用
		販路の拡大	農業協同組合による販売活動、農家の直接販売、輸出促進
		付加価値の向上	6次産業化、農商工連携
		地産地消・食文化の伝承	地産地消の推進、食文化の伝承と女性農業者の活動支援
		都市と農村の交流	農業体験交流、小中学生農家民泊誘致、市民農園(市民菜園)
⑥令和元年東日本台風災害からの復旧復興 ※令和2年度追加			

指標	<現状値 ⇒ 目標値>
	・新規就農者数(5年間) <u>118人 ⇒ 150人</u>
	・農地の利用権設定面積 <u>667.3ha ⇒ 893ha</u>
	・果樹新品種・新技術導入栽培面積 <u>68.3ha ⇒ 106ha</u>
	・果樹農業生産額 <u>92.7億円 ⇒ 104億円</u>

**実施状況の評価(毎年)**

指標による評価、市議会への報告、市民への公表

# ○ 現行の農業振興アクションプランの進捗状況

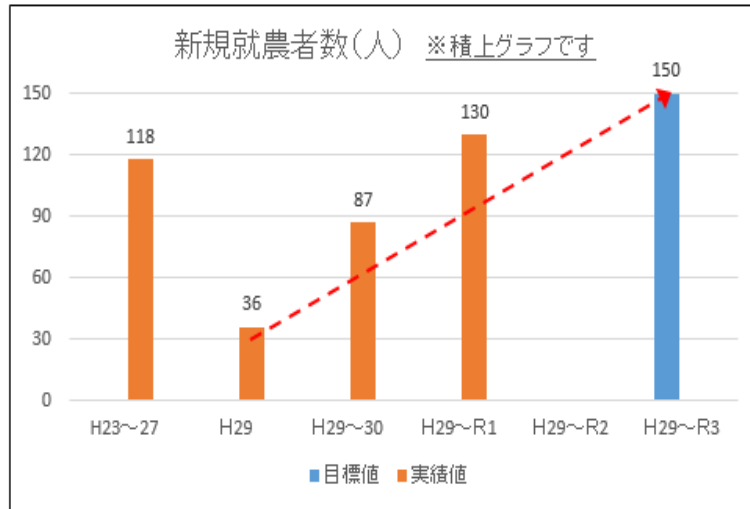
## 長野市の農業生産額（推計）

品目	平成28年産		平成29年産		平成30年産		令和元年産	
	生産額	構成比	生産額	構成比	生産額	構成比	生産額	構成比
米	21.9 億円	10.8 %	21.9 億円	10.8 %	21.0億円	10.3 %	19.9億円	10.5 %
麦類・雑穀・ 豆類	0.7 億円	0.3 %	0.6 億円	0.3 %	0.7億円	0.4 %	1.0億円	0.5 %
野菜 (いも類含む)	19.2 億円	9.5 %	20.3 億円	10.0 %	20.1億円	9.9 %	20.5億円	10.8 %
果樹	92.7 億円	45.8 %	90.2 億円	44.3 %	92.0億円	45.2 %	87.6億円	46.3 %
畜産	3.6 億円	1.8 %	4.0 億円	2.0 %	3.7億円	1.8 %	3.1億円	1.6 %
花き	3.0 億円	1.5 %	3.1 億円	1.5 %	3.1億円	1.5 %	2.8億円	1.5 %
栽培きのこ	60.5 億円	29.8 %	62.5 億円	30.7 %	62.3億円	30.6 %	54.1億円	28.5 %
その他	1.0 億円	0.5 %	0.9 億円	0.4 %	0.6億円	0.3 %	0.5億円	0.3 %
合計	202.6億円		203.5億円		203.5億円		189.6億円	

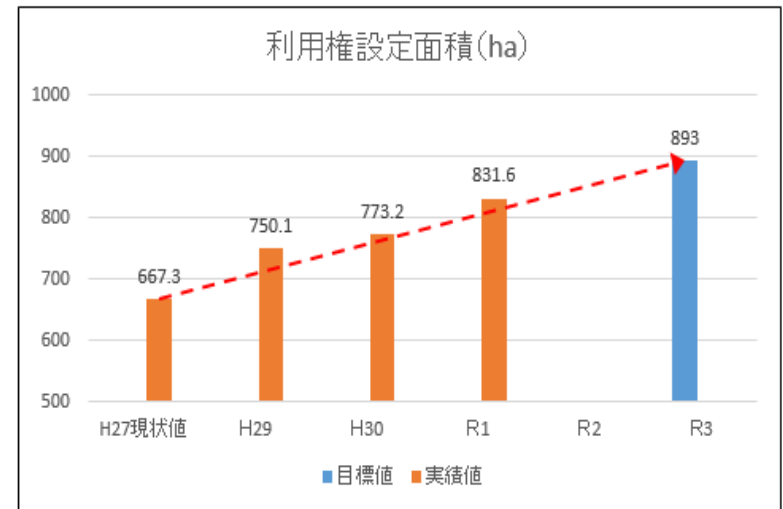
令和元年東日本台風災害による影響

- ・農産物被害(果樹中心に)5億1千5百万円
- ・栽培きのこ生産施設の被災による出荷量の落ち込み

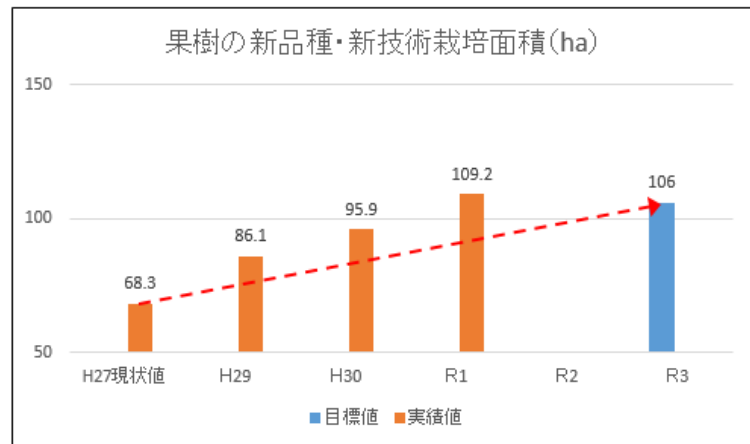
# 指標の進捗状況



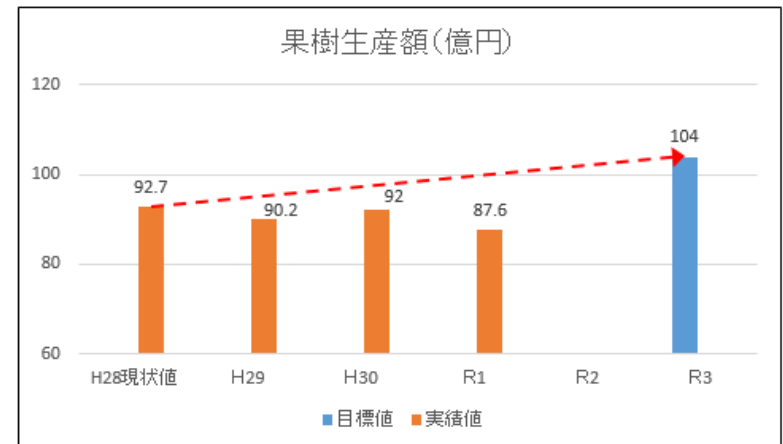
	H23~27	H29	H29~30	H29~R1	H29~R2	H29~R3
目標値	-	-	-	-	-	150
実績値	118	36	87	130		



	H27現状値	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	-	-	-	-	-	893
実績値	667.3	750.1	773.2	831.6		



	H27現状値	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	-	-	-	-	-	106
実績値	68.3	86.1	95.9	109.2		



	H28現状値	H29	H30	R1	R2	R3
目標値	-	-	-	-	-	104
実績値	92.7	90.2	92	87.6		

# ○ 第二期農業振興アクションプランの策定に当たり

## 長野市農業振興条例第9条より

- ・ 農業の多様な担い手の確保及び育成
- ・ 耕作放棄地の発生抑制、農地の有効利用
- ・ 安全安心な農産物の生産拡大、地産地消の推進
- ・ 地域特性を生かした農産物・加工品の高付加価値化
- ・ 都市と農村の交流促進 など



- ・ **SDGsの視点**  
飢餓、経済成長と雇用、持続可能な生産と消費
- ・ **新型コロナウイルス感染症に伴う消費行動の変化**
- ・ **スマート農業技術の進展**  
自動運転、ドローン、センサー利用
- ・ **人・農地プランの実質化**  
地域の中心経営体への農地の集約・集積
- ・ **長期戦略2040**  
農産物の高付加価値化と持続可能な生産体制の確立

農業を取り巻く情勢の変化に対応するとともに、第五次長野市総合計画後期基本計画と整合を図りながら、本市農業の将来像の実現に向けて取り組む事項などを定める。

計画期間はR4年度～R8年度の5年間

# ○ 今後のスケジュール案

